

## 令和6年1月22日 放課後等デイサービスはらペコ 職員研修①

昨年に続き福岡市南区柏原にある「放課後等デイサービスはらペコ」さんの職員研修の講師をさせて頂きました。

「放課後等デイサービスはらペコ」さんは、食べることは生きることをモットーに昼食はもちろん、おやつも大切な一食と考え、旬の野菜や果物を使った、栄養のある手作りのものを提供し「食べるって楽しい」「食べるって幸せ」という想いをみんなで共有することを目指した「食育」に力を入れていらっしゃいます。

昨年は単発の研修でしたが、今年は6回シリーズ(2ヶ月に1回)で職員研修を担当させて頂きます。

第1回目の今回は、

### ■ペアレントプログラム

### ■「子どもを満足させる」関わりと「子どもを我慢させる」関わりとのバランス

以上の2つのテーマについて講義とグループワークを通して研修を行いました。

最初に「ペアレントプログラム」の目的である

#### ①行動で考える

→子どもの性格等ではなく行動に注目する。

#### ②否定的関わりではなく誉めて対応する

→子どもが出来ている事に注目する。

#### ③孤立せず仲間と協力して支援を行う

→プログラムを通して支え合う仲間を作る。

以上の3つのポイントを講義でお伝えし、グループワークの中では、ワークシートを使ってお互いの性格や得意な事・苦手な事などを発表し合い共有して頂きました。

お互いに伝え合い共有することで、コミュニケーション不足による職員間の偏見や決めつけを無くし、仲間として安心して自分の持ち味を発揮する体制を作ることが出来ます！

次に支援の永遠のテーマである「満足と我慢」のバランスについてワークシートを使って整理して頂きました。

子どもを満足させるために何でもオーケーにする対応。例えば、ゲームし放題・動画見放題・走り回り放題・片付けや時間、順番などのルール無し等々やりたい放題な状況。対して、子どもを我慢させるばかりの対応。「これもダメあれもダメ!」「禁止!」「我慢するのが当たり前」「あなたの意見は関係ない」「決まりだからしょうがない」等々常に監視的で否定的な状況。

「満足」と「我慢」どちらにも偏り過ぎたら良い支援になりません。しかし、どちらも教育や支援を行う上では必要です。支援する大人側も人間ですので、この両方のバランスを常に一定に保つ事は決して簡単ではありません。時には甘くなり時には厳しくもなります。

このバランスを個人個人のさじ加減任せにするのではなく、職員間で共通ルールや日々のバランスの配分を共有することで、事業所としての同じ目的を持った一体感のある支援が可能となります。

研修の中で「はらペコ」の職員の皆さん全員が、何よりも子どもたちの為、そして子どもたちへの日々の支援をより良いものにする為に楽しく真剣に研修に参加されていました！

発達こどもアカデミー研修担当・南川悠

